

## マラウイ通信

【町の大工】私の町で家具を買うときは基本オーダーメイドです。注文を受けた後に大工さんが全て手作業で制作していきます。電気器具は使わないので大きな木材を切る時も、研磨する時も全て人力です。しかしながらクオリティは想像よりも高く、技術の高さを感じます。町の大工さんを見ているなかで日本との違いに気付きました。皆さん想像してみてください。ノコギリを使う時に、どのように木材切りますか??刃を引くときに木材が切れますよね。私はそれが普通だと思っていたのですが、海外では違うようです。マラウイでは、ノコギリも鉋(カンナ)も押すと切ったり、削ることが出来ます。日曜大工用で買ったノコギリを、初めて使った時は不良品だと思ったのですが、マラウイでは共通してこのような構造になっているようです。次に私はマラウイでは、おかしな道具を使ってるな～と思いました。しかし調べたところによると、日本の道具が世界的には少数派だという事が判明しました。違いの由来には、得られる材木の質に関係しているようです。



手作りのソファ

渡邊拓人 17-2  
行政サービス  
ドーワ県立病院

一魚マラウイは内陸国ですので海は存在しません。しかし、マラウイ湖のお陰で貴重な魚を手に入れる事が出来ます。特にマラウイ湖沿いの町において、魚は日常的に食べられています。私の任地はマラウイ湖に面してはいませんが、一応魚も売られています。当然冷蔵機能もなく、ただ道端に並べて売られていますので、大量のハ工が集まってくるので、店主はそのハ工を一日中払いながら頑張っているのを売ります。乾燥を防ぐ為に定期的に水を撒く事も必須です。さてこの淡水魚ですが、個人的にはとても美味しいと思います。少し高価な事もあり、普段は購入しませんが、外食時などで注文する事がありません。衣をつけた魚を揚げ焼きにして、塩を付けて食べるのが主流です。小魚はトマト等の野菜と煮込んだりします。



大きめの魚 = 約500円



【柔道】任地の隣にあるザレカ難民キャンプ。なんとここでは柔道が盛んに行われています。幸運な事に国際柔道連盟から畳の寄付を受けており、本格的に柔道を練習することが出来ます。先日、マラウイ内で開催された柔道大会においても素晴らしい成績を取ることができました。最近、この柔道クラブに顔を出し練習を見学しています。また、空手の生徒を連れて行き、畳を使わせていただく事もできました。しかし、比較的恵まれた柔道環境のあるザレカ難民キャンプでさえも柔道着の数は不足しています。この道場にも皆様の協力のもと集められた柔道着を寄付する予定です。道着に関する記事は追って掲載したいと思います。



子供から大人まで、週に3回朝6時から練習を行っています。

【後記】少しずつマラウイの寒さは過ぎていき、家の中でダウンジャケットを着る回数は減ってきました。最近私の身の回りの物を欲しがめる人が殺到しています。ほぼすべての物をマラウイに置いて帰るので、誰かには譲る予定なのですが、そんな事を考えるのも一苦勞な作業です。是非トラブルは避けたいものですね(笑) 日本に帰る日が近づくと、無意識に日本の情報を入手しようと体が動き、日本のニュース等をネット上で見る事も増えてきました。ネットのお陰で浦島太郎にはならず済むだろうと自分では思っています。また到着日、一番の目標は日本のラーメンを食べる事です。これを調べるのが最近の日課です。